

学志舎 塾長様

事務長様

本日 が推薦入試を受験した岐阜大学の合格発表があり、無事に合格をいただくことができませんでしたので、ご報告させていただきます。

学志舎では の高校の3年間、本当にお世話になりました。

中3の時、 が結構気に入っておりました。 から転塾をさせるかどうか、とても迷いました。

本人が気に入っている塾から転塾をさせて、それで結果が出なかったら私の責任です。

しかし、私は自分のことをこれだけは褒めてあげたいのです。

「このまま に通い続けるのは、不安を感じる」「学志舎は、 に合っていると思う」と

いう私の予感、見事に当たっていたのです。我ながら、本当に「グッジョブ！」でした。

人生を変える紗綾コーチとの出会いがあり、本人に明確な目標ができて頑張ってきたこと、科目に限定されることなくどんなことでも側で力になって見守っていただいたこと、何もかもに感謝の気持ちでいっぱいです。

実は、私達夫婦は昨年から再び走り始めました。

その時頭に浮かんだのが「せっかく走り始めたのだから、来年は学志舎のリレーマラソンに出させてもらおうか？」だったのですが「そういうえば、
は高3だから来年にはもう学志舎にお世話になっていないのだ（だから、私達はもう「塾生家族」ではないのだ）」ということに気が付き、とても淋しかったです。

それくらい、我が家にとって学志舎の存在は「日常」であり、学志舎とお別れの日が来ることなど、想像できていなかったのです。

受験（勉強面）に関しては学志舎とコーチを信頼しておりましたので、親としては見守るだけで良く、とても楽をさせていただききました。

勉強だけではなく、今後の人生に役立つことを教えていただけただけなこと、本当に良かったです。

センター試験の日、学志舎が受験生を応援に来てくださることは昨年以前より存じ上げておりましたが「は愛知県が受験会場だから、誰にも来てもらえなくて当然だ」と思っておりまして。

それなのに安藤コーチはあの雪での悪天候の中、名鉄岐阜駅まで　のお見送りに来てくださり、温かい飲み物を差し入れてくださって、驚きました。

雪の中を運転していただくなんて、万が一の事故のことを思うと来ていただくのが申し訳ない気持ちになりますのに、きつと「自分にできること」を考えて来てくださったのだなあ、と思うと、学志舎での出会いの全てにありがとうございました。

安藤コーチの激励もいただいたお蔭でセンター試験は本人比で良い結果を出すことができて、推薦入試もセンターのアドバンテージで乗り切れたと思っております。

本人の望む最高の結果で終わりましたことは、学志舎との出会いがあったからこそ、です。本当にどうもありがとうございました。

塾生と塾生家族としてのご縁は終了してしまいましたが、今後とも機会がありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。お世話になりました。

平成二十九年二月七日

高校三年

母

追伸……「からお話させていただいておりますでしょうか。

センター試験の前後には、
が高3になる前に学志舎でご一緒させていただいております
した塾生（塾の先輩で、現在は大学生）の複数の方から、激励のお菓子やお守りやお手紙
をいただきました。

塾で一緒だっただけの「塾の後輩」にここまでしてくれるのは、学志舎出身の塾生だから
こそだと思いますし、卒業して大学生になってからも学志舎の精神を受け継いでいる塾の
先輩方に驚き、大人として感嘆いたしましたし、親として感謝の気持ちでいっぱいになり
ました。

「人の気持ちを慮りながら、自分には何ができるかを考えて行動すること」を、
れから受け継いでいってくれるといいなあ、と思っております。

もこ